

次号の折り込みは5月16日(月)

〈舞鶴市ホームページ〉http://www.city.maizuru.kyoto.jp/

今号の主な内容

国民文化祭

事業内容・出演団体が決定(2ページ)

平成22年の貿易実績(3ページ)

特集・加佐地区の小・中学校再編(4・5ページ)

土砂災害ハザードマップを作成(8ページ)

まいづる花図鑑

ヤマボウシ



ミズキ科 見ごろ...5月~6月

本州以南の山地に見られる落葉高木。葉は短い柄があり、楕円形で先はとがり、縁はやや波打つ。初夏、枝先に長い柄を伸ばし、多数の小花が球状に咲く。花の根元に付く花弁のように見える4枚の白色の総苞片(つぼみを包んでいた葉)がよく目立つ。名前の由来は「山法師」で、中心の花の集まりを坊主頭に、白い総苞片を頭巾に見立てたといわれる。秋に赤く熟する実は甘く食べられる。

協力=瓜生勝朗 市文化財保護委員(植物分野)

被災地の復興を願い

希望の灯 2,000 個ともす



幻想的な雰囲気を出すキャンドル(松尾寺境内)

キャンドル灯火会「二灯一援」

4月16日、舞鶴市と高浜(福井県)にそびえる青葉山ろく一帯で、舞鶴市・高浜町連携事業「青葉山春爛会」を開催。自然観察会や絵画展、お茶会など、多彩な催しに約2,200人が訪れました。また、17時から開催した「キャンドル灯火会」では、「二灯一援」(ひとつの灯にひとつの支援)を実施。東日本大震災で被災され

豪華客船で行く佐渡島 府民クルーズで夏の思い出を

クルーズ客船「ばしふ」が実施する「夏の思い出をいっしょに遊ぼう」(総社数26,594名)を使って、京都舞鶴港が発着点となる夏の佐渡島を巡る「府民クルーズ」を初めて実施。参加者を募集します。日本海を眺めながら、優雅で快適な船旅を満喫してみませんか。日時・コース 7月2日(土)17時、京都舞鶴港出港→3日(日)9時30分、佐渡島入港→3日18時、佐渡島出港→4日(月)クルーズ客船「ばしふ」



クルーズ客船「ばしふ」

被災者相談・登録窓口を設置

東日本大震災

東日本大震災により舞鶴市に避難してきた被災者の情報などを把握するため、「東日本大震災被災者相談・登録窓口」を設置しました。氏名や被災時の住所、避難先などの情報を登録。その情報を府災害支援対策本部を通じて被災時に居住していた市町村と県に提供。被災時に居住していた市町村などから支援などの各種情報を随時お届けします。

- ◆設置場所 市民課(市役所本館1階、☎66・1001)
◆開設時間 平日の8時30分~17時15分
◆登録いただく情報 氏名、生年月日、性別、被災時の住所、避難先など
◆情報提供の内容 見舞金など各種給付の連絡、国民健康保険証の再発行、税金や国民健康保険料の減免、猶予・期限延長の通知など

5月31日までに 住宅用火災警報器の設置を
消防法と市火災予防条例の改正により、5月31日までにすべての住宅に住宅用火災警報器(以下警報器)の設置が義務付けられています。近年、住宅火災による死亡原因の6割が逃げ遅れとなつています。火災を早期に発見し、自分や家族の命を守るため期限内に警報器の設置をお願いします。



煙感知式の警報器(天井設置型)

- ◆設置場所 寝室・台所・階段の天井か壁。なお、4畳半以上の居室が5つ以上ある階には、廊下にも設置が必要。
◆設置する警報器 煙感知式(台所は熱感知式も可)。日本消防検定協会の鑑定マークが付いたもの。家電販売店などで購入でき、自分で取り付けが可能です。詳しくは、消防本部(☎66・1090)へ。